【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成30年1月11日(2018.1.11)

【公開番号】特開2017-33755(P2017-33755A)
【公開日】平成29年2月9日(2017.2.9)
【年通号数】公開・登録公報2017-006
【出願番号】特願2015-152327(P2015-152327)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｒ　31/02　　(2006.01)
Ｈ０２Ｇ　 3/08　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｒ　31/02　　Ｃ
Ｈ０２Ｇ　 3/08

【手続補正書】
【提出日】平成29年11月22日(2017.11.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
略直方体状の電子機器ケースであって、
入力端子と、
少なくとも２つ以上の出力端子と、
前記電子機器ケースの両側面のそれぞれから突出する取付部とを備え、
前記取付部は略直方体形状とされ、該取付部における隣接する２つの側面に連通する取付開口部が形成されており、該取付開口部に、前記電子機器ケースを取り付けるための取付具を挿入できることを特徴とする電子機器ケース。
【請求項２】
前記取付開口部に前記取付具を挿入して、前記２つの側面の一方に形成されている前記取付開口部に前記取付具を位置させた時と、前記２つの側面の他方に形成されている前記取付開口部に前記取付具を位置させた時とでは、前記電子機器ケースの取付方向を異なる方向とすることができることを特徴とする請求項１に記載の電子機器ケース。
【請求項３】
さらに、側面に前記取付具を挿通可能な孔部が形成されているネジ受けピンを備え、
前記取付部に形成されたネジ受けピン挿入孔に前記ネジ受けピンを挿入して、該ネジ受けピンを前記取付開口部内に配置し、前記孔部に前記取付具を挿通することを特徴とする請求項１または２に記載の電子機器ケース。
【請求項４】
分岐器又は分配器の電子機器ケースであることを特徴とする請求項１～３のいずれかに記載の電子機器ケース。
【請求項５】
前記取付部における前記２つの側面からなる角部が丸みを帯びた形状とされていることを特徴とする請求項１～４のいずれかに記載の電子機器ケース。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
上記目的を達成するため本発明の電子機器ケースは、略直方体状の電子機器ケースであって、入力端子と、少なくとも２つ以上の出力端子と、前記電子機器ケースの両側面のそれぞれから突出する取付部とを備え、前記取付部は略直方体形状とされ、該取付部における隣接する２つの側面に連通する取付開口部が形成されており、該取付開口部に、前記電子機器ケースを取り付けるための取付具を挿入できることを特徴とする。また、本発明の電子機器ケースは、前記２つの側面の一方に形成されている前記取付開口部に前記取付具を位置させた時と、前記２つの側面の他方に形成されている前記取付開口部に前記取付具を位置させた時とでは、前記電子機器ケースの取付方向を異なる方向とすることができる。さらに、本発明の電子機器ケースは、側面に前記取付具を挿通可能な孔部が形成されているネジ受けピンを備え、前記取付部に形成されたネジ受けピン挿入孔に前記ネジ受けピンを挿入して、該ネジ受けピンを前記取付開口部内に配置し、前記孔部に前記取付具を挿通するようにしてもよく、これらの電子機器ケースを分岐器用又は分配器用の電子機器ケースとして用いてもよい。さらにまた、本発明の電子機器ケースは、前記取付部における前記２つの側面からなる角部を丸みを帯びた形状としてもよい。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
【図１】図１は本発明に係る電子機器ケースの実施例１の構成を示す前面からの斜視図であり、電子機器ケースの上面方向からネジを取付開口部に挿通し、固定を行う場合を表す図である。
【図２】図２は本発明に係る電子機器ケースの実施例１の構成を示す前面からの斜視図であり、電子機器ケースの前面方向からネジを取付開口部に挿通し、固定を行う場合を表す図である。
【図３】図３は本発明に係る電子機器ケースの実施例１の構成を示す下面からの斜視図であり、電子機器ケースの前面方向からネジを取付開口部に挿通し、固定を行う場合を表す図である。
【図４】図４は本発明に係る電子機器ケースの実施例２の構成を示す前面からの斜視図であり、電子機器ケースの上面方向からネジを取付開口部及びネジ受けピンに設けられたネジ受け孔を挿通し、固定を行う場合を表す図である。
【図５】図５は本発明に係る電子機器ケースの実施例２の構成を示す前面からの斜視図であり、電子機器ケースの上面方向からネジを取付開口部及びネジ受けピンに設けられたネジ受け孔を挿通し、固定を行う場合を表す図である。
【図６】図６は本発明に係る電子機器ケースの実施例２の構成を示す前面からの斜視図であり、電子機器ケースの前面方向からネジを取付開口部及びネジ受けピンに設けられたネジ受け孔を挿通し、固定を行う場合を表す図である。
【図７】図７は本発明に係る電子機器ケースの実施例２の構成を示す下面からの斜視図であり、電子機器ケースの前面方向からネジを取付開口部及びネジ受けピンに設けられたネジ受け孔を挿通し、固定を行う場合を表す図である。
【図８】図８は本発明の実施例２の電子機器ケースにおけるネジ受けピンの構成を示す（ａ）側面図、（ｂ）上面図、（ｃ）Ａ－Ａ方向からの側面図、（ｄ）Ａ－Ａ断面で示す側面図、（ｅ）Ｂ－Ｂ断面で示す下面図、（ｆ）斜視図、（ｇ）斜視図である。
【図９】図９は本発明の実施例２の電子機器ケースにおいて用いられるネジとネジ受けピンの接続時の構成を表す斜視図である。